

2013 年 7 月 1 日配信 / 2013-No.4

「魅力あふれるいにしへの自由都市・堺の歴史と文化」をひもとく

## 市民公開授業「堺学」が太成学院大学で開講【堺市美原区共催】

魅力あふれるいにしへの自由都市・堺の歴史と文化を学生と一緒に学ぶことができる、この市民公開授業は、太成学院大学（足立裕亮学長）と堺市美原区（宮田知弥区長）が共催で開講します。

講師は堺の都市史などを永年研究されている堺市在住で元堺市博物館 副館長の 中井正弘講師（著書：「仁徳陵-この巨大な謎」「堺都市史探訪」他多数）です。15 週で堺の歴史と文化を興味深く学習することができ、各週単独の受講も可能です。大人気の実地でのフィールドワークも予定しています。

太古のロマン、日本を代表する仁徳天皇陵古墳をはじめ、壮大なスケールで古墳時代を今に伝える古墳の数々。平安時代、摂津・河内・和泉の 3 国の境に位置しているところから「さかい」と呼ばれるようになり、貿易都市として発展した堺のまちづくりの精神を今に伝える史跡、神社・仏閣とそこに残された文化遺産。新しいことに果敢に挑戦する堺の進取の気風を受け継ぎ、偉大な足跡を残した千利休や与謝野晶子を代表とする堺の先人達。今も息づく世界に誇れる伝統産業の匠の技、鉄砲鍛冶をルーツとする刃物や自転車・昆布・線香・敷物・和ざらしとゆかたなど、職人の知恵と経験。さあ、あなたの知らなかった魅力あふれるいにしへの自由都市・堺の歴史と文化に触れてみませんか？



【学生と一緒に堺について学びませんか】

■開講時期：9 月 19 日（木）から 1 月 9 日（木）の半年間 15 回講義

■開講時間：毎週 2 時限目（10：40～12：10）

■講座費用：5,000 円（15 回分）テキスト代（1,500 円程度）

※申し込み方法・来学方法等の詳細につきましては、パンフレットをご送付させていただきます。

下記お問い合わせ・お申込み先までご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ・お申込み】

太成学院大学	人間学部 講師	猪池 雅憲
	社会連携 主担	
	学生サービス課	蟹江・小西

〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾 1060-1

TEL 072-362-3731 / FAX 072-362-05 98 / URL <http://www.tgu.ac.jp>

〈本件発信部署・取材等に関するお問い合わせ〉

太成学院大学 入試課 担当：川越 [E-mail:m-kawagoe@tgu.ac.jp]

〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾 1060-1

TEL 072-362-3731(代表) 072-362-3732(入試課直通)

FAX 072-362-0598 / URL <http://www.tgu.ac.jp>

本学のニュースやイベントを掲載した学内報 Pillar of Wisdom を本学ホームページに掲載しております。取材用資料としてぜひご活用ください。(http://www.tgu.ac.jp/schoolinfo/school-report.php)



太成学院大学 市民公開授業 堺学 講義内容（抜粋）

第1講	世界遺産をめざす百舌鳥・古市古墳群と大山古墳（仁徳陵）
第2講	泉北丘陵は古代のハイテク須恵器の一大生産地帯
第3講	河内鑄物師の活躍
第4講	律令国家体制（奈良時代）と堺出身の僧・行基
第5講	東南・東アジアの繁栄と堺商人の海外交易の実態
第6講	泉南仏国といわれた中世都市堺， 千利休の大成させた茶の湯文化とキリスト教宣教師が見た堺
第7講	大坂夏の陣後のみごとな復興計画商工都市
第8講	井原西鶴が紹介した江戸時代元禄期の堺，大坂と随分異なった気質は どうして生まれたか
第9講	鎖国と大和川の付け替えでも消滅しなかった町と 港湾・新地・新田開発
第10講	大阪府に併合された堺県の近代教育と産業振興
第11講	海浜リゾート都市だった近代の大浜・浜寺と与謝野晶子
第12講	臨海工業地帯の造成と泉北ニュータウン建設
第13講	周辺町村合併および政令指定都市と現在のまちづくりの課題
第14～15講	①堺市博物館と堺市役所 ②みはら歴史博物館と黒姫山古墳などの現地見学授業 （開講期間中の土または日曜日に実施 費用は別途）

※講義内容は変更する場合がございます。予めご了承くださいませ。